

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社 エストアー  
 コード番号 4304 URL <http://Estore.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 石村 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 柳田 要一

TEL 03-3595-1106

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,218	5.5	108	△10.6	106	△11.3	71	△12.2
29年3月期第1四半期	1,154	—	121	—	119	—	82	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	13.94	—
29年3月期第1四半期	15.89	—

(注) 平成28年3月期第1四半期は、四半期連結財務諸表のみを開示し四半期財務諸表(個別)を開示していないため、平成29年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,404	1,125	33.1
29年3月期	3,492	1,173	33.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,125百万円 29年3月期 1,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
30年3月期	—	—	—	—	—

(注) 1 当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めていますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定です。  
 2 平成30年3月期の配当予想は未定です。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	4,990	4.5	403	△1.0	397	△1.1	274	3.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	10,327,200 株	29年3月期	10,327,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	5,165,902 株	29年3月期	5,165,902 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	5,161,298 株	29年3月期1Q	5,161,308 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されており業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期貸借対照表 .....	6
(2) 四半期損益計算書 .....	8
第1四半期累計期間 .....	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における小売業界の状況は、経済産業省発表の統計によると、消費者マインドの改善などを背景に持ち直しの動きがみられました。また、当社が属するEC（電子商取引）業界は、平成28年度の日本国内のB to CにおけるECの市場規模は、15.1兆円と前年比約10%増の成長が続いています。

このような状況の中、当社はEC専門店の総合支援会社として、通販システムとマーケティングを提供し、現在はマーケティング支援に傾注させて、顧客店舗の業績拡大に努めてきました。

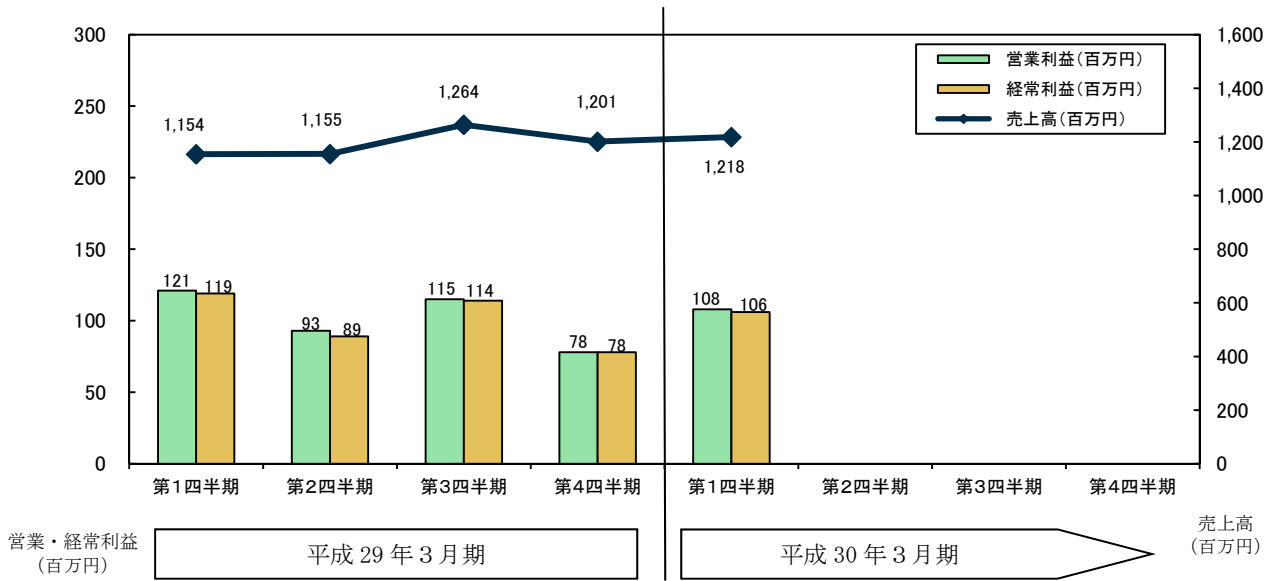
この結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,218,216千円（対前年同期間比5.5%増）、営業利益は108,237千円（同10.6%減）、経常利益は106,214千円（同11.3%減）、当期純利益は71,967千円（同12.2%減）と増収減益ですが、マーケティング支援の受注額が増加するなど、計画を上回る内容で推移しています。

以下、売上高、利益の詳細になります。

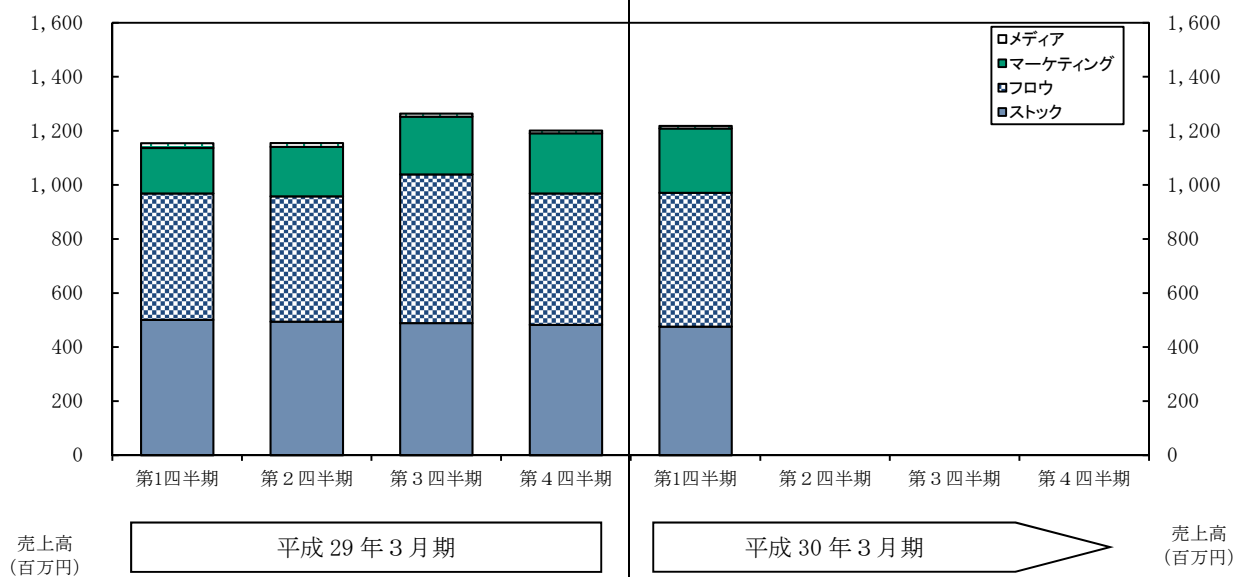
顧客店舗数に連動するストック売上高は、ECサイト構築に必要な通販システムは、参入業者の増加や時代の変遷により過当競争が続くと従前より予測していたため、新規顧客の獲得をECでのポテンシャルが見込める優良顧客に偏重させています。そのため、顧客店舗数が減少した結果、476,290千円（同4.9%減）となりました。なおこれは、計画に織り込んでおり、想定どおりに推移しています。顧客店舗の業績に連動するフロウ売上高は、マーケティング支援および優良顧客の増加により、1顧客店舗当たりの業績を伸ばした結果、494,500千円（同5.7%増）となりました。注力中のマーケティング売上高は、前年度に投資（主に人材投資）を行い体制構築が進む中、マーケティング支援の成果の質が評価されてきたことで、既存顧客店舗からの受注額が増加しました。さらに新規顧客店舗における受注額が以前と比べ大幅に伸びた結果、238,481千円（同41.8%増）となりました。非注力であるメディア売上は、8,943千円（同49.8%減）となりました。

利益につきましては、マーケティング支援の体制構築に必要な人員増による人件費の増加および原価率の高いマーケティング売上の比率が増加することによる費用の増加により減益となりました。

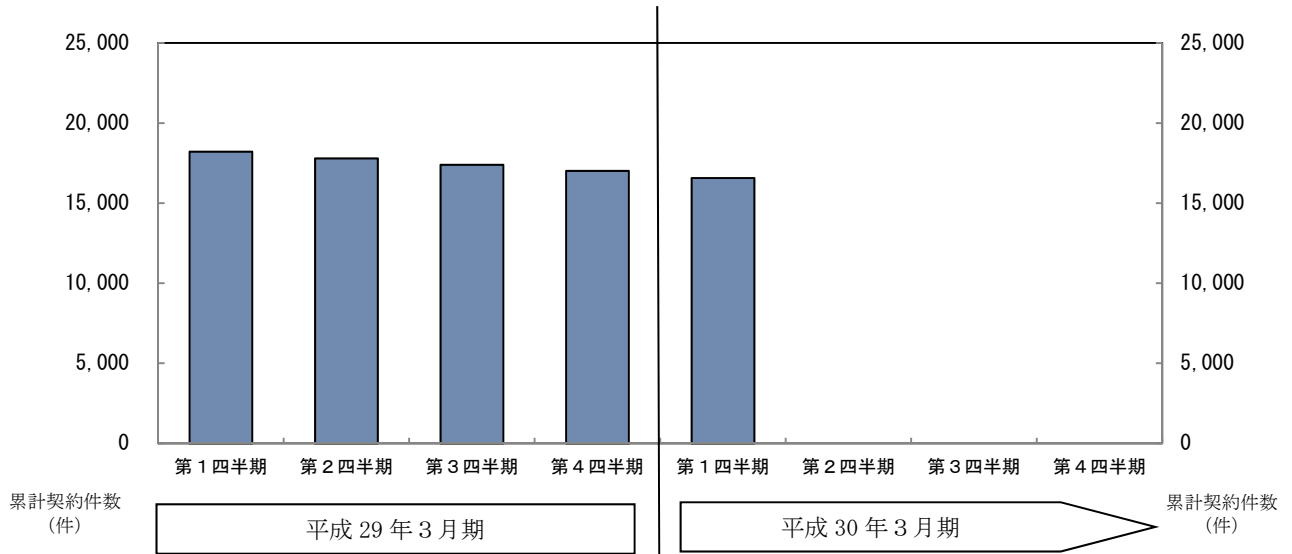
(売上・利益の四半期推移)



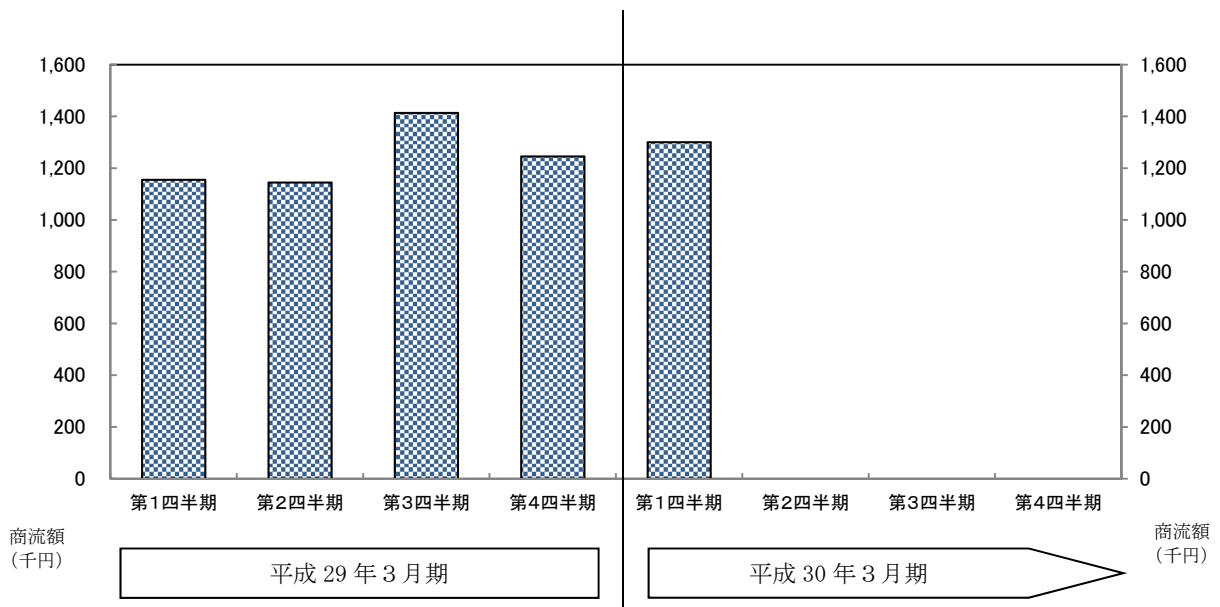
(売上種別)



(契約件数)



(1店舗あたりの商流額)



(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、3,404,563千円となりました。

当第1四半期会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比で87,845千円減少し、3,404,563千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少68,492千円によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比で40,204千円減少し、2,279,025千円となりました。これは主に、預り金の増加24,788千円、未払金の減少64,919千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比で47,641千円減少し、1,125,537千円となりました。これは、平成29年3月期の配当金支払123,871千円があったものの、四半期純利益として、71,967千円を計上したことによります。これにより自己資本比率は33.1%(前事業年度末比0.5ポイント減)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日付「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,312,622	2,244,130
売掛金	575,929	578,880
貯蔵品	9,058	10,878
その他	117,571	109,460
貸倒引当金	△3,131	△3,149
流動資産合計	3,012,050	2,940,199
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	96,830	88,763
その他(純額)	32,380	31,309
有形固定資産合計	129,211	120,073
無形固定資産	103,606	98,069
投資その他の資産		
投資有価証券	72,020	75,960
敷金	132,410	132,410
貸倒引当金	△4,483	△4,483
その他	47,593	42,332
投資その他の資産合計	247,541	246,220
固定資産合計	480,358	464,363
資産合計	3,492,409	3,404,563
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	190,581	189,268
未払金	123,658	58,739
未払法人税等	31,193	20,571
預り金	1,740,309	1,765,097
賞与引当金	90,618	49,904
その他	120,299	173,102
流動負債合計	2,296,660	2,256,684
固定負債		
資産除去債務	20,743	20,803
リース債務	1,826	1,537
固定負債合計	22,569	22,341
負債合計	2,319,230	2,279,025



(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
資本剰余金	539,461	539,461
利益剰余金	2,921,470	2,869,565
自己株式	△2,810,314	△2,810,314
株主資本合計	1,173,945	1,122,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△767	3,495
評価・換算差額等合計	△767	3,495
純資産合計	1,173,178	1,125,537
負債純資産合計	3,492,409	3,404,563

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,154,815	1,218,216
売上原価	762,794	866,457
売上総利益	392,021	351,758
販売費及び一般管理費	270,933	243,520
営業利益	121,087	108,237
営業外収益		
受取利息	43	55
為替差益	40	-
投資有価証券売却益	-	1,434
雑収入	2	130
営業外収益合計	86	1,620
営業外費用		
支払利息	374	-
投資有価証券償還損	588	-
投資有価証券売却損	-	3,627
子会社清算損	437	-
為替差損	-	3
雑損失	9	12
営業外費用合計	1,409	3,643
経常利益	119,764	106,214
税引前四半期純利益	119,764	106,214
法人税、住民税及び事業税	18,436	15,793
法人税等調整額	19,322	18,453
法人税等合計	37,759	34,247
四半期純利益	82,005	71,967

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。